



個人投資家向け事業説明資料

ファクト - 事実 - を情報化する

Turning facts into intelligence

オリコンは、フェイクニュースの横行など、
情報が錯綜する社会において、客観的、公平な立場から事実を情報化し、
広く提供することで、社会からの信頼を獲得します。

これにより、豊かな生活の実現と、
様々な産業の発展に貢献する社会的価値の高い企業を目指します。

オリコンは ニュースとランキングを提供する調査会社

ニュース



ORICON NEWS

トレンドを情報化

ランキング



オリコン顧客満足度



オリコンランキング

消費者データを情報化

オリコンは社会と真摯に向き合い、
徹底した裏付け取材や緻密な集計・分析を通してトレンド情報やデータを正確に発信し、
企業や人々に気づきを与え続けることで知的に活性化された情報社会を目指します

ニュース

ORICON NEWS



最新情報を幅広く発信する 総合トレンドメディア

芸能情報をはじめ、ドラマ・アニメ・音楽・映画・お笑い・動画配信サービスなど、最新のエンタメ情報を幅広く紹介。

近年は格闘技やアーバンスポーツ、ライフスタイル情報など、既存のエンタメ枠にとらわれない最先端トレンドも発信しています。

自社で作成したコンテンツは、Yahoo!ニュースやLINEニュースなど約100社に配信。X（旧Twitter）のフォロワー数は145万人、YouTubeのチャンネル登録者数も200万人を誇るなど、様々なプラットフォームで情報を届けています。

※2024年4月時点

◆「ORICON NEWS」公式サイト
<https://www.oricon.co.jp/>



- ◆日本最大級のトレンドニュース通信社として、約100社に記事・動画を提供
- ◆総合トレンドメディア「ORICON NEWS」は月間1億セッションにまで成長

主なコンテンツ配信先 (2023年4月時点)

約**100**社に記事・動画提供

ORICON NEWSが選ばれる理由

✓ 正確性・信頼性

ORICON NEWSは取材に裏付けられた確かな“事実”だけを報じることで信頼を積み重ねてきました。読者が安心して読める内容だからこそ、ポータルサイトやニュースアプリのみならず、新聞社・通信社・テレビ局にもコンテンツが活用されています。

✓ スピード

情報入手から配信までの速度も重要な指標。より多くの人に正確な情報を知ってもらうためにも、記者の取材活動に加えて、AI技術を活用した配信ツールの開発などにも注力。最新のエンタメ・トレンド情報をいち早く入手&発信する体制を整えています。

メディア・パワー

月間PV	170,000,000		353.6万人
月間SS	90,000,000		203万人
月間UB	50,000,000		145.5万人

※2024年1月～2024年3月平均

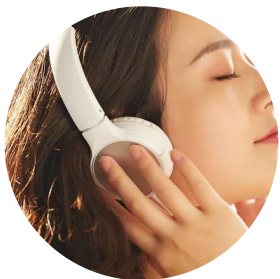
※2024年4月時点

ニュース・メディア運営の主な収益モデル



※ニュース・PV事業の主なコストは人件費と開発費

◆ユーザー行動や社会変動に適応し、メディアのトップランナーとしての地位を維持・向上



ORICON MUSIC ♪



アニメ&ゲーム
by ORICON NEWS



Drama&Movie
by ORICON NEWS



動画配信サービス
by ORICON NEWS



格闘技

and more...

◆格闘技

エンタメ領域を格闘技にも広げ、試合前後に行われる記者会見の様態をまとめた記事・動画がヒットコンテンツとなっています。



◆ショート動画

現状のユーザーニーズに対応。
時流に沿った最適なコンテンツを常に提供しています。



ランキング

オリコン顧客満足度



より良い選択のために リアルな消費者データを収集・発信

オリコン顧客満足度調査は、2003年に発刊した、患者満足度に基づいた医療ランキング本『患者が決めた！いい病院』をきっかけとして、2006年に事業を開始しました。現在は、全国およそ200産業のサービスにおける満足度を調査しています。

実際の利用者から得られた最新データは、企業や大学・公的機関にも提供しており、商品・サービス品質の向上や、研究開発、データサイエンティストの育成などにご活用いただいています。

また、集計結果は「オリコン顧客満足度ランキング」としてWebサイトに公開。消費者がより良いサービスの選択ができるよう、ランキング情報を発信しています。

◆「オリコン顧客満足度」公式サイト
<https://www.oricon.jp/business/cs/>



オリコン顧客満足度（CS）ランキングのコアコンピタンス



- ◆受託調査とは一線を画す客観的な満足度調査を実施し、信頼ある情報を提供
- ◆消費者・企業・研究機関とのコラボレーションにより、質を高めながら順調に事業が成長
- ◆ブランドを軸としたユニークな知財ビジネスを展開

社会的相互作用で洗練されるデータ

多くのステークホルダーが関わることで、恣意性が排除された純度の高い調査データが蓄積され、循環するエコシステムが構築されている



商標活用事例

顧客満足度の高い企業とオリコンのコラボレーションによって、互いのブランド価値が高まっていく



顧客満足度（CS）調査の収益モデル



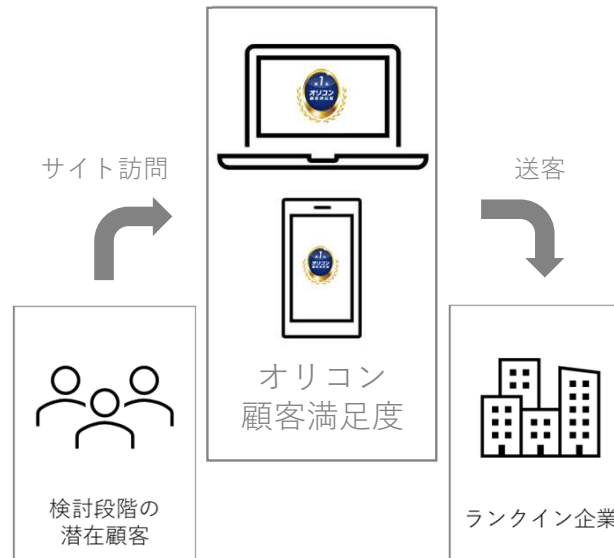
※各ランキングは1年に1回更新しているため、順位変動の機会も1年に1回発生する

商標利用



- 新規ランキングの持続的投入
- 利用範囲拡大による契約価格向上
- サブランキングの
在庫増産・販売強化
 - └評価項目…使いやすさ、スタッフの対応 など
 - └部門…性別、年代、地域 など

デジタルプロモーション



- 戦略的にリソースを投入し注力
 - └契約数の拡大
 - └SEO対策
- 新規デジタル支援メニューの投入

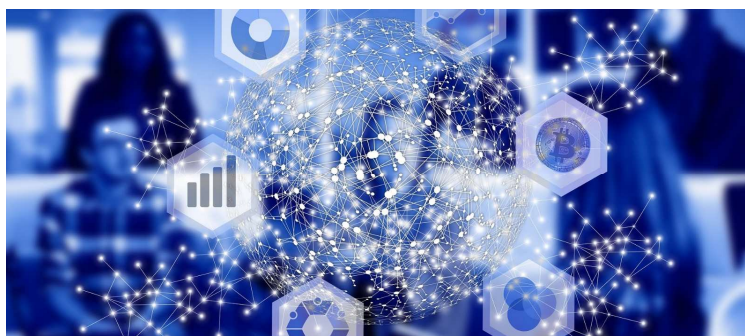
新規展開



- 調査データを活用した
コンサルティング
積極的に仮説検証を行い、
新しい収益源を獲得していく

その他事業セグメント

オリコンを支える基幹事業



■データサービス事業（データベース／ランキング情報など）

全国にある調査協力店から販売データを集計し、音楽をはじめ映像や書籍のランキングを日々作成しています。集計されたデータは、データベースとして蓄積され、オンラインデータサービスや、書籍『ORICON エンタメ・マーケット白書』を通して、各業界や一般の方に広く提供を行っています。また、自社モニターを活用したエンタメやトレンドに関する調査を実施しており、多種多様なランキングを発表しています。

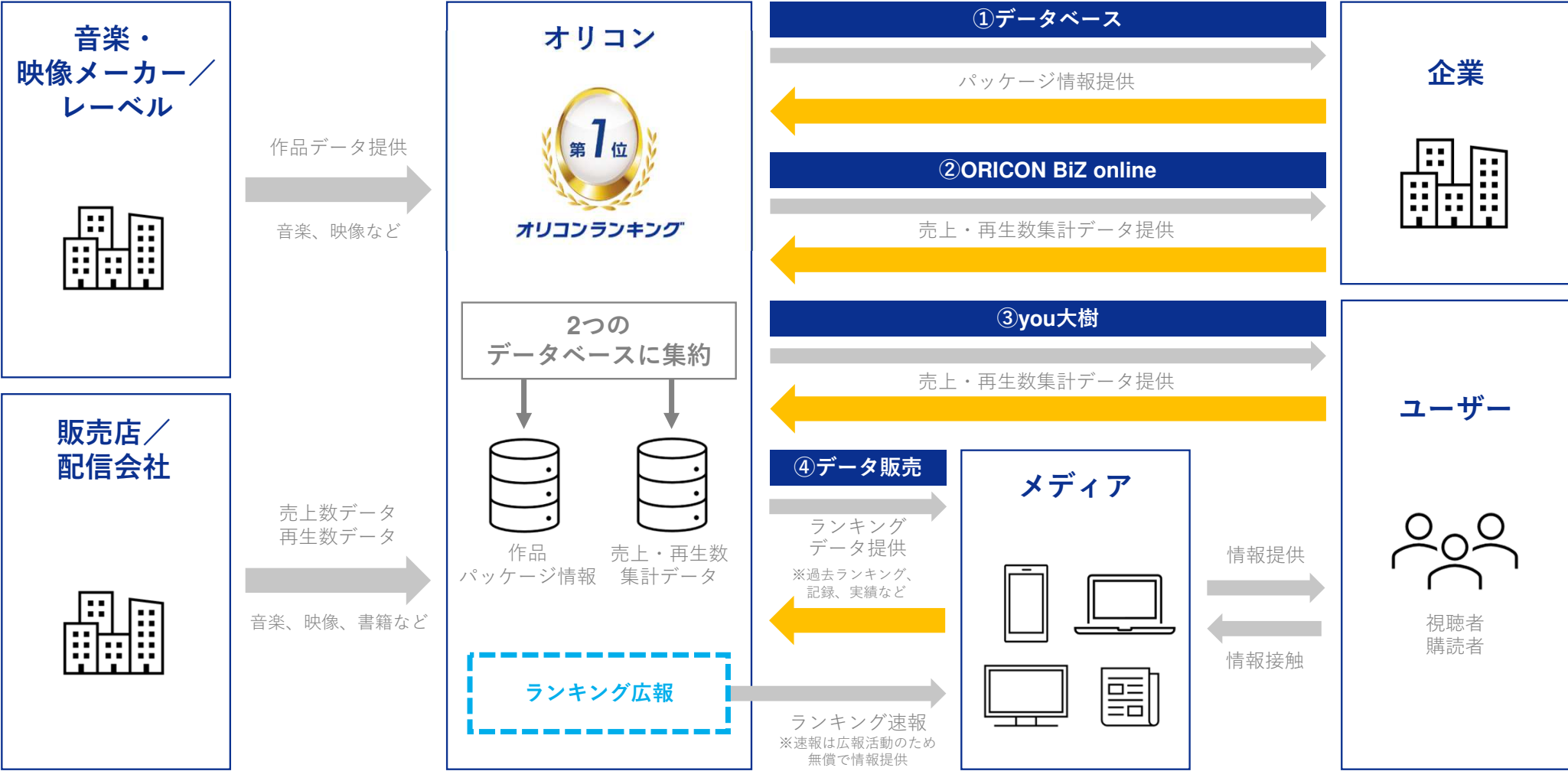


■モバイル事業（音楽ダウンロード／電子書籍サイトなど）

1999年の創業時より、オリコンランキングや音楽情報の携帯電話向けコンテンツの提供を開始し、着信メロディ・着うた・着うたフルを経て、現在はスマートフォン・PC向けの音楽配信、コミックを中心とした電子書籍サイトを運営しています。

データサービス事業の収益モデル

➡ アクション ➡ 収益 ■ 費用



※リサーチ事業の主なコストは人件費と開発費

モバイル事業の収益モデル

→ アクション → 収益 → 費用



事業セグメント

■ コミュニケーション事業



顧客満足度（CS）調査事業



ニュース配信・PV事業



■ データサービス事業



オリコンランキング

ORICON BiZ online
you大樹
powered by JF ORICON

オリコン・モニターリサーチ

■ モバイル事業

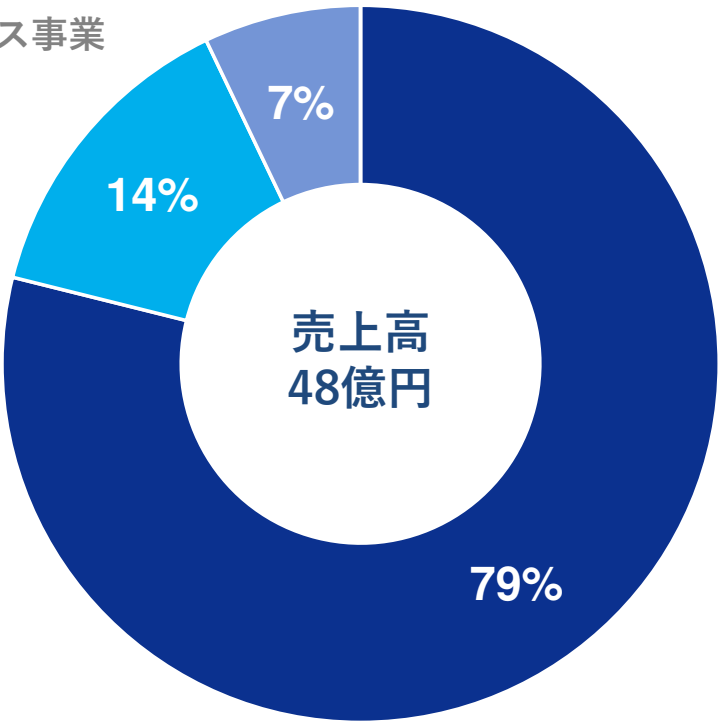


≡オリコンミュージックストア≡



売上構成比

- コミュニケーション事業
- データサービス事業
- モバイル事業

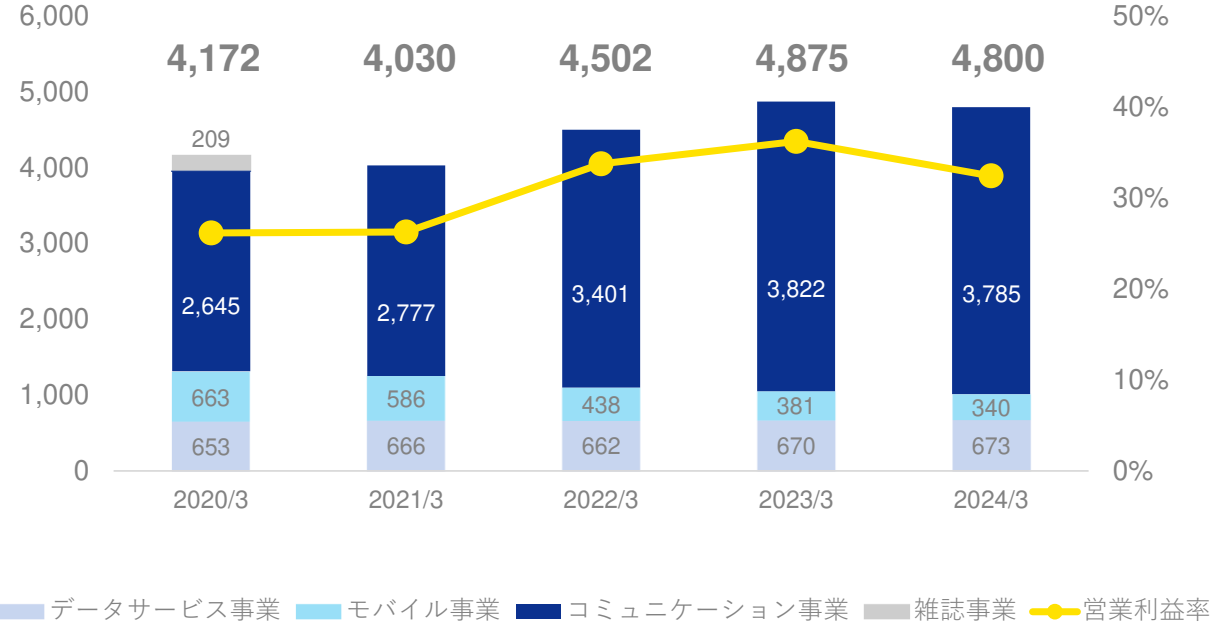


売上高
48億円

2024/3

業績推移

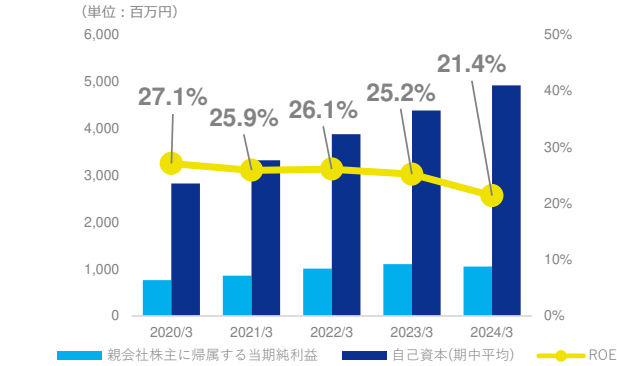
(単位：百万円)



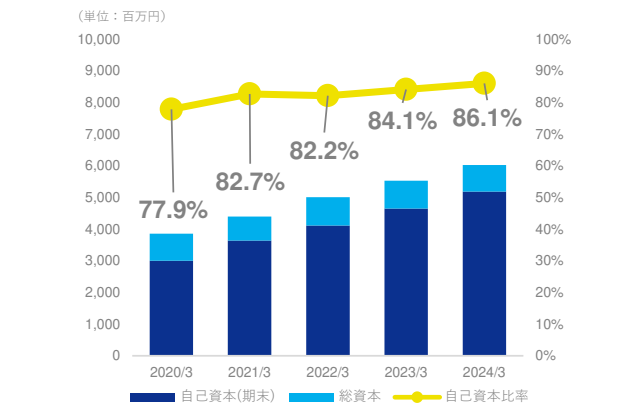
◆IR情報
<https://www.oricon.jp/ir/>



ROEの推移



自己資本比率の推移



SDGs



ジェンダー平等を実現しよう

◆性別問わず個々人の能力による管理職への登用を実施。
男女平等にモチベーションを高め、より能力を発揮しやすい環境を整備

※今後における女性管理職の割合の目標

○部長以上

2021年時点20% → 2025年までに30%

○ユニット長（課長相当職）

2021年時点27% → 2030年までに40%



エネルギーをみんなに そしてクリーンに

◆企業活動に必要な電力を2030年までに100%再生可能エネルギーに切り替えることを目指す



産業と技術革新の 基盤をつくろう

◆顧客満足度（CS）調査事業では、サービス産業を中心に公平中立な立場から評価を行うことを通じて、より高い品質のサービスが拡大する社会へ先導し、持続可能な産業化の推進とイノベーションの拡大を支援。



気候変動に具体的な対策を

◆2019年10月～12月のLED化工事により、オフィス使用電力量は、2018年から2020年にかけて前々年比78%まで削減
◆再生可能エネルギーの利用により、2030年までに温室効果ガス排出ゼロを目指す

スタートアップ支援



ZETAに出資
(アーバンスポーツメディア)



SBI 4+5ファンド



だんきちに出資
(オンライン型スポーツレッスンサービス)



ANOBKA3号ファンド

学術向けに調査データを提供

顧客満足度調査のデータを大学、公的研究機関の研究で利用していただくために、国立情報学研究所（NII）の情報学研究データリポジトリ（IDR）を通じて無償提供しています。また、名古屋大学の実践データサイエンティスト育成プログラムにもデータを提供。学術的な分野に提供することで、学術研究の進歩に寄与し、文化・技術の発展に貢献しています。

ファクトー事実ーを情報化する



オリコン株式会社

<https://www.oricon.jp/>